

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

# 備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 30 号

平成 19 年 2 月 16 日

発行元  
岡山県立  
高松農業高校

tel  
086-287-3711  
fax  
086-287-3713



平成 19 年 1 月 30 日・31 日  
農業土木科 1 年生が実習で校内の第 2 棟  
から購買へ通じる通路をコンクリート舗  
装してくれました。その日の岡山市の最  
低気温は 1.2。真冬の実習ですが、私  
たちはとても心が温かくなります。

## 【朝礼台】 学年末考査に備えて

学年末考査が近づいています。泣いても笑つてもこれが学年最後の試験となります。特に進級がかかっている人にとっては大きなヤマ場となります。「学問に王道なし」という言葉もあるように、試験勉強にこれが一番と信じている方はありませんが、ある雑誌に「試してみてもよい」と思える方法が書かれていましたので 4 つほど紹介します。

### 《1》勉強を順番にやらないこと

まず 1 ページをやって、次は 2 ページをやっているとテストが始まるまで終わらないかもしれません。試験範囲を行ったり来たり、まずは 3 ページ、次は 10 ページを飛び飛びにやり、また、もどって 2 ページをやればよいのです。一回勉強している内容ですから、どこからでも手はつけられるはずです。

### 《2》部屋の掃除はテスト明けに

テスト前の環境が大切と、部屋の掃除や片付けをする人がいますが、勉強をすることに逃げているのではありませんか。掃除はテストの後にするべきです。

### 《3》憶えるのでなく「なぜ」を解決する

土壇場で憶えようと努力しても、かばんの中に荷物を押し込むのと同じです。そのことの意味、なぜそのなのかわかることにはこだわったほうが自然と頭の中に入るものです。

### 《4》継続は力なり

短い時間でも毎日やるのが身につくやり方です。1 日で 2 時間やるより、4 日間 30 分ずつやるほうがはるかに意味あることだと思います。(もう時間がありません)

## 【放課後】

紙面の都合で所属クラスを略号で示しています。(説明は欄外)

### 【射撃部】

岡山県高体連の今年度の優秀選手に、中嶋一樹(3B)、浅野鈴子(3H)の 2 名が選ばれました。

### 【ソフトテニス部】 2 / 3

岡山県技術等級大会 備前市総合運動公園  
男子初級  
尾崎(2A)・国橋(2E)  
尾崎(2A)・国橋(4O)水工  
尾崎(2A)・国橋(4I)笠岡  
尾崎(2A)・国橋(4J)岡工  
尾崎(2A)・国橋(4K)関西  
尾崎(2A)・国橋(4L)倉工  
尾崎(2A)・国橋(4M)岡工 第 3 位

県大会で 3 位入賞はすばらしい成績です。



## 【ラグビー部】 1 / 21

岡山県補助陸上競技場  
第 39 回岡山県ラグビー新人大会で岡山工業に、5.0 で勝ち(実際のスコアは 0.48)でしたが、岡山工業が人数不足のため、ルール上勝ちとなる(翌週には一週間前に大敗した金光学園戦で、初トライを決め、5.36 と善戦しました。本校ラグビー部は他の部同様、この寒さの中で公式戦初勝利を目指して頑張っています。



写真は 2 月 10 日土曜日、本校生徒会のメンバーが高松地区内吉備線 3 駅奉仕活動に参加したから早朝から御苦労様でした。

## 【レスリング部】 1 月 26 日、28 日

鳥根県の松江工業高校で開催された第 22 回中国高校選抜レスリング大会に学校対抗戦と個人対抗戦 6 名が出場しました。結果は次の通りです。

団体戦	2 回戦	高農 5	2 田布施農業(山口県)
	準決勝	高農 4	3 隠岐島前(鳥根県)
	決勝	高農 0	7 倉敷(岡山県)

準優勝で 3 年連続 3 度目となる全国高校選抜大会(3 月新潟県で開催)ではベスト 8 を目指す。個人戦

上岡賢人(1E)	50 kg 級出場
高橋 啓(2A)	55 kg 級優勝
谷坂亮輔(1F)	66 kg 級優勝
横山幸和(2A)	96 kg 級優勝
西山裕祐(2A)	74 kg 級第 3 位
原 竜太(2A)	120 kg 級第 5 位

この結果、5 位以上の 5 名が全国高校選抜大会に出場することが決定した。(過去最多)

## 【弓道部】全国高校選抜弓道大会

1 / 28 吉備津弓道場  
女子個人 第 2 位 河合早苗(1F)  
惜しくも茨城県である本大会への出場は果たせなかったが大健闘であった。

## 【第 2 回高校生川柳コンクール】

福岡大学主催の同コンクールで全応募作品 4639 作品の中で、本校倉本裕介君(1A)の作品  
お弁当 母のきげんの パロメーター  
が入賞 50 作品に選ばれました。

## 【職員室】

本校の工藤祐士教諭(保健体育)がレスリング競技で 1 月 26 日、第 6 回岡山市人見絹枝スポーツ特別顕彰を受賞しました。これは、同賞が創設された 2001 年から連続 5 回に達した人だけに贈られる大変名誉ある賞です。

## 【農場】



1 月 24 日に生物工学科 2 年生 6 人が浅口市鴨方町の平喜酒造で手作業で行う昔ながらの酒造りを体験した。生徒は、日本酒の最高峰とされる大吟醸の仕込みに取り組みました。  
写真・文とも山陽新聞社提供

## 【ホームルーム】

1 月 27 日の土曜日、午後 7 時の NHK ニュースで番組の終了直前に、「岡山県内で鳥インフルエンザの発生が疑われる」と報じられた。それから 5 分後、第一報を受けた校長・教頭・農場長・畜産科学科長で情報を共有。午後 7 時 38 分には、畜産科学科長が岡山家畜保健所に事実確認。午後 11 時、農場長と県教委担当指導主事と今後の対応策決定。翌日は野鳥が飛来する前のまだ夜が明けないうちから、農場長・畜産科学科長・職員で、万に備え鶏舎および農場周辺を消毒し、西門から農場にかけては関係者以外立ち入り禁止とした。(その日の午後には県内で鳥インフルエンザが発生したことが正式に発表された。)さらに本校では県内で鳥インフルエンザが発生した場合の本校独自の緊急マニュアル(レベル 4)によって翌月曜日から発生が中止し、現在に至っている。最初の発生から 21 日間、別の場所での発生がなければこれらの措置は解除することになるが、はっきりとした原因がわからない状態では、予断は許されない。鶏舎の消毒・鶏の健康チェック等と緊張の毎日が続いている。確かめた訳ではないが、今回のことで中四国農政局や県庁の農林水産部、家畜保健所に勤務する多くの本校 O.B 諸氏が最前線で懸命にその原因の究明や被害の拡大の防止に奔走しているに違いない。本校生徒も職員も食の安全について改めて考えさせられた。何れの産業も同様かも知れないことを痛感している。最後に、「平成十九年一月、岡山県での我が国 7 例目の発生を最後に鳥インフルエンザの発生は報告はありません」という報道が遠い将来になされることを期待します。